

COMMONS PRESS Vol.13

COMMONS PRESSは、

同志社大学ラーニング・コモنزの大学院
生スタッフ「ラーニング・アシスタント」
(LA) の有志メンバーによって制作された
学習支援情報誌です。

学生の皆さんの知的好奇心を刺激するよう
な、
学びに関する様々な情報を提供していきま
す。

CONTENTS

作業効率アップ！レポート作成に
役立つショートカットキー……………3

リモートで自分の意見を
正しく伝えるには？……………5

COVID-19下での質的調査法 ……7

情報に出会ってみませんか？ ……9

Book Review①

春日武彦『鬱屈精神科医、占いにすぎる…11

Book Review②

沢木耕太郎『深夜特急』……………13

Book Review③

イ・オクベ作、おおたけきよみ訳
『非武装地帯に春がくると』……………15

リモート勉強室を活用しよう！！……………19

作業効率アップ！ レポート作成に役立つショートカットキー



突然ですが、皆さんは普段、「ショートカットキー」を使っていますか？ ショートカットキーとは、特定の機能を一瞬で作動させる、魔法のような機能です。例えばネットで特定のサイトの文章を全部コピーしようとする、ページの一番上から一番下までマウスで範囲指定しながらスクロールし続けたいといけませんよね。これが短い記事であればそんなに大変でもありませんが、ものすごく長い記事だと、ずっとスクロールし続けることになります。しかし、ショートカットキーを使えば、この作業を一瞬で終わらせることができます！ 今回の記事では、レポート作成にとっても役立つ便利なショートカットキーをいくつかご紹介しますので、ぜひ活用してくださいね。

< 1234
ラーニング・アシスタント (LA) ≡

ショートカットキーってたくさんあるよね？ どれから覚えてほしいの？

まずは基本的なショートカットキーをご紹介しますので、こちらから覚えていきましょう！ WordでもExcelでもPowerPointでも使える、便利なショートカットキーです。これだけ覚えておけば、かなり作業効率がアップするはずです。

Ctrl + Z	1つ前の状態に戻す
Ctrl + Y	1つ後の状態に進める
Ctrl + F	ページ内の特定のテキストを検索する
Ctrl + A	ページ内の全てのテキストを選択する
Ctrl + C	選択した範囲をコピーする
Ctrl + X	選択した範囲をコピーして切り取る
Ctrl + V	コピーした内容を貼り付け（ペースト）する
Shift + 矢印キー	選択範囲を矢印キーで指定した方向に拡大する

※ Mac PCの場合はショートカットキーが異なります。

< 1234
ラーニング・アシスタント (LA) ≡

Wordでレジюме作ってるんだけど、いちいちマウスで書体を変えるのが面倒！ テキストの書体を変更できるショートカットキーとかないの？

Wordでレジюмеを作るときに便利な、書体を変更するショートカットキーです！ PowerPointでスライドを作るときにも、使えますよ！

Ctrl + B	選択範囲のテキストを太字にする
Ctrl + U	選択範囲のテキストにアンダーラインを引く
Ctrl + I	選択範囲のテキストを斜体（イタリック）にする
Ctrl + E	選択範囲のテキストを中央揃えにする
Ctrl + R	選択範囲のテキストを右揃えにする
Ctrl + L	選択範囲のテキストを左揃えにする
Ctrl + J	選択範囲のテキストを左右均等揃えにする

もうだいたい覚えたから、もっと使えるショートカットキーを教えてほしい！

それでは、少し複雑なので難易度の高いショートカットキーをご紹介します！ 論文を書いたりレジюмеを作るとき、あるいは、人の書いた文書のチェックをするときに使える中～上級者向けのショートカットキーです。

Ctrl + Shift + >	選択範囲のテキストのフォントサイズを拡大する
Ctrl + Shift + <	選択範囲のテキストのフォントサイズを縮小する
Ctrl + Alt + J	カーソルのある箇所に脚注を挿入する
Ctrl + Alt + M	カーソルのある箇所にコメントを挿入する

※ Mac PCの場合は、ショートカットキーが異なります。

（法学研究科 益田高成）

リモートで自分の意見を正しく伝えるには？



大学のオンライン授業、先生とのメール、友達との意見交換…
リモートで自分の意見を人に伝える機会が増えていませんか？

対面とはなんとなく違う 「リモートでの発言」

自分の言いたいことが上手く伝わらないこともあるのではないのでしょうか。

そういうつもりで
言ったわけじゃないのに…

あれ、もしかして伝わってない？

「リモートでの発言」の性質を確認して
より伝わりやすい意見のしかたを考えてみましょう！

対面に近い

Zoom Teamsなど(ビデオあり)
Zoom Teamsなど(音声のみ)
チャット
メール

よりリモート(離れている)

リモートで困っていることは？

- ・呼吸をあわせにくい(間があく)
- ・補足しづらい
- ・訂正しづらい
- ・指示語が伝わりづらい
- ・相手が言ったことを確認しづらい
- ・感情が伝わりづらい
- ・発言するタイミングがわからない

とくに 離れすぎず近すぎないZoomやTeamsだと
相手との距離感が測りにくい！



ZoomやTeamsで発言する場合を考える

発言のタイミング

会話の切れ目で発言してみる

リモートは普段の会話よりも
切れ目(沈黙)ができることが多いです
そのタイミングを見逃さず、意見してみましょう！
突然話始めるよりも、
返事をしたり、**名前を名乗ってから**発言すると
誰が発言しているかが明確になって良いですね
マイクの**ミュートが解除**されているかの確認も
お忘れなく！



はい。
同志社大学の
〇〇です。

△△について意見させてい
たきます。

発言内容

言いたいことは最初に言う

リモートでは、よりわかりやすい発言を心がけましょう
発言内容の**構成をすっきりまとめると**良いですね
言いたいことは初めに言っておくと、まとめやすいです
例)①主張→②理由→③補足→④まとめ
手元にメモを用意しておく
ささっとまとめられるので便利です



僕は〇〇だと思います(主張)

理由は△△です(理由)

このような意見に対しては
こう思います(補足)

これらのことから、僕は〇〇
だと思いました(まとめ)

話し方

相手に話しかけるつもりで

リモートは普段の会話よりも聞き取りが難しいです
いつもより**大きめ**の声で、**ゆっくりはっきり**話すことを
意識するとより伝わりやすくなります
また、自分の感情も伝わりづらいため
事実だけを伝える事務的な話し方だと
冷たく聞こえてしまうことも…
相手に話しかけるつもりで適度に返事を求めるような
話し方をしてもよいですね



僕はこう思いました。
△△の問題に関しても
気になっているのですが…

〇〇さんは△△について
どう思われましたか？

内容確認

発言内容を繰り返す

リモートでは普段の会話よりも
発言の内容確認がおろそかになりがちです
相手の発言に対して返事をする時などは
頻繁にお互いの発言内容を繰り返して、
勘違いがないかを確認すると良いですね
ZoomやTeamsのチャット機能を利用して、
発言の内容を共有するのも良いですね



先程の〇〇という意見に
ついてです。

△△ということでしょうか？

これに関しては私はこう思います。

今回は、主にZoomやTeamsなどを前提としたリモートでの発言についてとりあげましたが、
「リモート」という言葉の本来の意味(英: remote = 離れた)から考えると、メールもまたリモートでの
発言の一つです。メールで意見する場合は、なによりもまずはじめにメールマナーを守ることが大切です！
ラーニング・コモンズではメールの書き方などさまざまな学習支援コンテンツをご紹介しますので、
ぜひそちらもご確認ください。

<https://ryoshinkan-lc.doshisha.ac.jp/おうちDeLC>

(文学研究科 藤本真緒)

外に出れないのに、
どうしたら調査できるの？

COVID-19下での質的調査法



人に会えない昨今の状況のなかで、どうすれば非対面でインタビューや
参与観察といった質的調査ができるのでしょうか。

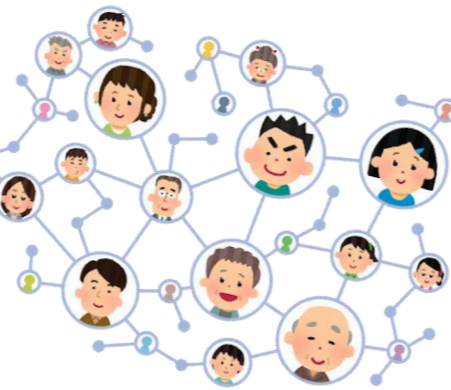
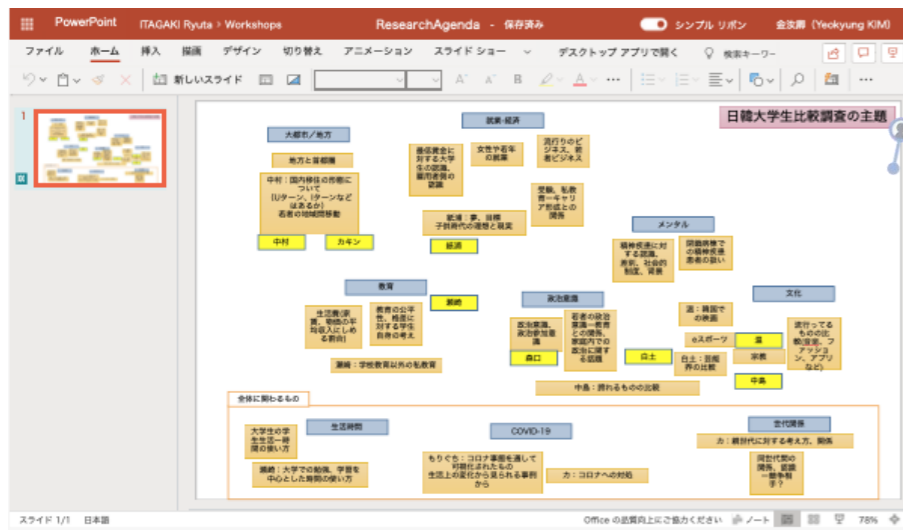
私が所属している社会学研究科の板垣竜太ゼミでの調査内容を紹介します。遠隔での質的調査の
方法と事例をお伝えします。

板垣ゼミの社会調査実習では、これまで地域社会と在日コリアンを対象に調査を行ってき
ましたが、フィールドに直接赴けない現状を受けて、韓国の大学生との比較調査に取り組み
ました。私たちが行っている研究方法は、行政統計や新聞などの資料調査、インタビュー、
参与観察、ワークショップなどです。統計資料などは比較的入手しやすく、自粛の影響をほ
とんど受けないものです。ここでは、自粛によってこれまでのやり方が難しくなってしまった
「対面」調査（ワークショップ、インタビュー調査、参与観察）の方法について簡単に紹介
します。

1. オンライン・ワークショップ

多数の人が集まって意見を調律する際によく使われる、ブレインストーミングを集団で行
うようなものがワークショップです。

普段なら参加者が集まって行うものですが、オンラインでもこうした方法が使われ、その
ための専用のホームページもあります。なかでも最も手軽なツールはGoogleやMicrosoft Office
のオンライン機能とビデオチャットの機能を合わせた方法です。



←オンライン
ワークショップの一例

オンラインプログラムを用いて、リアルタイムに意見を出し合いながら記録し、そのう
えで、関係がある項目を並び替えることで、ワークショップも遠隔で可能です。

2. SNSやメール、電話によるインタビュー調査

インタビュー調査を行うには、調査を依頼し、信頼関係を形成することが大事です。しかし、
会ったことのない人にどのような手順を使えばいいのでしょうか。もちろん情報のみ収集す
る場合、信頼関係は重要ではないかも知れませんが、深く話を聞くには「関係の形成」が不
可欠です。

それを遠隔に行う際に注意すべきなのは、

- ①相手と調査手段を選定（相手に合わせた手段利用）、
- ②話の技術（会話の間隔、質問の方法など）です。
（話の技術については、藤本さんの記事を参照）

★失敗することを恐れず、いろいろな手段での
インタビューを練習し、試みるのが大事だと思います。



3. 観察記録

質的調査において参与観察は「現場」で人を観察するとい
う方法です。しかし、人に会えない現状では、自分の毎日（日程や経済生活記録）や自分がいる場所での他の人を
観察して記録する方法などがあります。

例えば、調査期間中の自分の日常の動きを記録して
COVID-19以前とどのように変わったのか、それが学問的に
どのように解説できるのか考えてみるができます。

また、家の中での家族の動きや関係性などを観察して記
録し、分析をして学問的に解説することで大事な発見があ
るかも知れません！



集団観察記録一例→
(その場所の見取り図を描いたり、
人の動き、語りなどを
時系列に記録する)



相手に会えない状況では、自分や相手の性格やライフスタイルなど、個人による変数
が大きく関わってきます。そのため、様々な方法を工夫し、事前に試してみることで、それ
を行動に移して試みることを恐れないことです。さらに、こうした取り組み自体を記録する
と、それも素敵な研究の一つになります。

ここでは、上記の3つの方法を紹介しましたが、皆さんの独創的なアイデアを発揮して
ください。皆さんがいるくいま-ここ>が研究になります！

(社会学研究科 金汝卿)



情報に出会ってみませんか？

世界でベストセラーとなったハンス・ロスリング著『ファクトフルネス』は、私たちに情報との付き合い方を見直すように警鐘を鳴らしました。SNSやネットには、情報が溢れています。人々はマスメディアで誇張された不幸を見て危機感を覚えています。例えば、私たちはアフリカの貧困問題をいきなり突きつけられると無力に感じます。しかし、その背後にあるガバナンスやビジネスの仕組みが少しでも分かれば、自分の立場でもできることをイメージすることができるでしょう。

こうした情報に対する理解力をインフォメーション・リテラシーと言います。それを身につけるには、一朝一夕にはできません。普段から良質な情報源に触れながら、自分の持論をブラッシュアップしていく作業が必要です。

サービス名	コンテンツ	キーワード	大学提供サービス
聞蔵IIビジュアル	朝日新聞	リベラルな論説・国際ニュース	○
日経テレコン	日経新聞	経済ニュース・国際ニュース	○
JIJIWEB	時事通信社ニュース	時事・海外関連ニュース	○
Press Reader	世界中の雑誌	時事・海外・ライフスタイル等	○
Webcat Plus	読みたい本を発見	特定のトピックに関連する本を見つけるサービス	○
Smart news	ニュースのダイジェスト	時事・ライフスタイル・英語ニュース	×
dマガジン	日本の雑誌	時事・芸能・ライフスタイル等	×
楽天マガジン	日本の雑誌	同上	×
NHKオンデマンド	NHKの番組	ドラマ・ドキュメンタリー	×
Netflix	映画、ドラマ、ドキュメンタリー	海外ドラマ・海外映画・英字幕	×

「情報やデータベースが多すぎて、どれが自分に合うのかイメージできない」という方のために、いくつかの利用例を示しておきます。もちろん、「これだけを読めば安心」というものはそもそも存在せず、「他に何か面白いものないのかな」と好奇心を持ち続ける事がポイントなので、あくまでもご参考までに。

たとえば…

学生A: 「世の中に起きていることに関心はあるけど、新聞は少しつまらないかも」

→おすすめサービス：Press Reader/dマガジンまたは楽天マガジン

学生B: 「海外ドラマを見て英語力を高めてきたつもりではあるが、なかなか伸びない」

→おすすめサービス：Netflix（英字幕をON）

学生C: 「今後はこのテーマで少し深く勉強してみたいけど、まずはどんな資料からかな」

→おすすめサービス：Webcat Plus（本を「連想」してくれるので色々遊べる！）

学生D: 「就活に向けてこれまで関心のなかった経済や社会分野の知識にも触れてみたい」

→おすすめサービス：聞蔵IIビジュアル/日経テレコン/dマガジンまたは楽天マガジン

（この記事で紹介されているサービスには有料コンテンツが含まれています。あらかじめ注意事項等をご確認ください。）

（法学研究科 王靚）

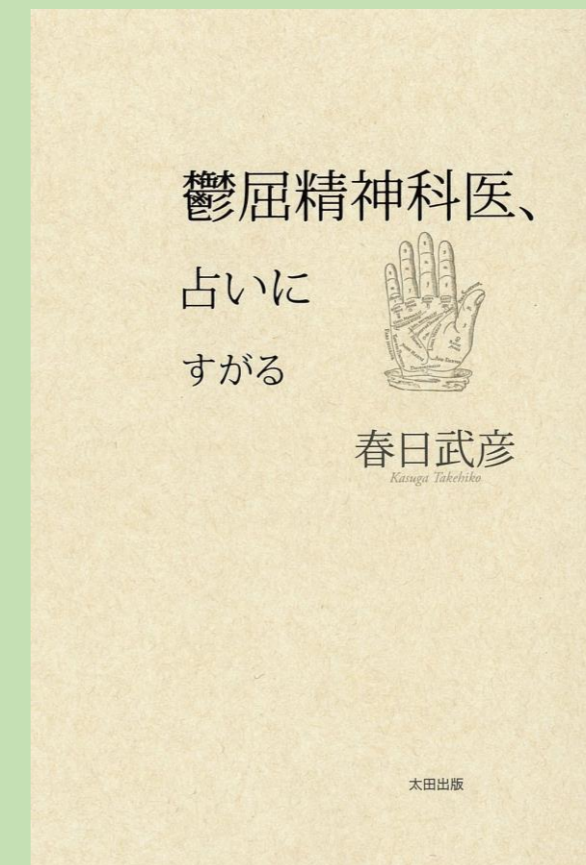
春日武彦『鬱屈精神科医、占いにすぎる』 (太田出版)

〈目次〉 まえがき

- 第1章 占い師に「すぎり」たくなる気分のこと
- 第2章 世界を理解する方法としての占い
- 第3章 カウンセリングのようなもの、としての占い
- 第4章 「救い」に似た事象について
- 第5章 一線を越える、ということ

あとがき

(表紙画像、目次ともに太田出版HPより)



「おそらく、占いに頼ってみるのはわたしにとって居直りなのである。世間への恨み、運命への怒り、人生への失望——そうしたものへの占いという『いかがわしげ』な方法をもって立ち向かうことで、嘲笑を投げつけてやろうとしているのだ。」 (p.5)

『鬱屈精神科医、占いにすぎる』は、著者の精神科医・春日武彦が、自身の「衰退感覚だか不幸の被曝みたいな感覚」(p. 17)から逃れる(というポーズを取りつつ、しかしそのことによって自身の苦しみを愛する)ために、ある種の「居直り」として、しかし一方で切実に救いを求めて占い師のもとを訪ね、約15ページに渡る心情の吐露(pp. 35-49)のち咽び泣く、といったような内容の本です。

この要約はこの本の前半部をいわば暴力的にまとめたものですが、しかしこの本でつらつらと書き吐かれていく春日の精神構造の拗れ具合は十分に理解してもらえるかなと思います。人によっては、その理解は身に染みるように、まるで自分のことを言われているように、起きてくるはず。不幸の感覚は嘘ではないけれど、同時にその感覚そのものを愛し味わう倒錯した趣味を持つ人間は多いはずなので…。

春日はそうした趣味をかなりの程度まで極めた人間なのでしょう。彼は自身の鬱屈した内面について、時に過去の記憶を、そして頻りに母親との関係性を引き合いに出しながら、描き出していきます。その際彼は、さすが精神科医なので、臨床的ないし心理学的知見にもとづいて、分析していきます。

また文学を引き合いに出すこともあり、その時はしばしば「自分はここまで出来た人間ではない」とまた自分を虐めたりしています。挙句そうやって描き出した自分の内面をいかがわしい占い師に安売りして、嗚咽しながら泣いている。

それがこの本であり、作者です。かわいいですよ。

今年前半のあんな状況もあって、身体的にも精神的にも「うちにこもっている」人が多いと思います。四六時中がずっと眠れない夜であるかのように、自分の内面をグジグジこねくり回しているひとは、ぜひ読んでみてください。きっとかわいい自分のことを見出して、春日と一緒に笑えるはず。ちなみに私は一通り自分を笑いましたが、まだ鬱屈としているので、占いに自分を安売りしています。

(文学研究科 松本菜々子)

沢木耕太郎『深夜特急』(全六巻) (新潮文庫)



(新潮社HPより)

「三カ月か四カ月後には、ロンドンの中央郵便局から《ワレ成功セリ》って電報打つから楽しみに待ってろよ」

1947年生まれ、26歳。その男は、友人たちにこう言い残し、全てを放り出して旅に出た。最終目的地はロンドン。しかしその旅は、いわゆる「旅行」では決してなかった。インドのデリーからロンドンまで、乗り合いバスで行く—それは、「真剣に酔狂なことをする」無謀とも言える旅だった。

最近、カミュの『ペスト』や、五木寛之の『大河の一滴』がよく読まれていると聞きます。コロナウィルスの影響は、人々の読書にも及んでいるようです。これらの本を読みながら、人々は、今の状況との付き合い方を模索しているのかもしれない。しかし私は、この社会を生きる知恵を我々に与えてくれる存在が本であるならば、社会から一度「距離を置く」機会を与えてくれるのも、また本なのではないかと思うのです。

私は、ステイホームに疲れてしまいました。顔を覆わなければ堂々と外も出歩けない、今の社会に疲れてしまいました。私のように、ステイホームに疲れた人、他者とのリアルな交流に飢えている人、そして一旦社会の状況を忘れたい人に、この小説を勧めたいと思います。

この小説は、著者の1年以上にわたるユーラシア放浪の旅を基にした紀行小説です。この記事の冒頭で(多少ヒロイックに)紹介させていただいた通り、その移動手段は一般的な旅行で用いられるものではありません。また、移動の方法が独特だからでしょうか。旅の途中で著者が出会う人々も、それぞれ強い個性を放っています。

個性的な人々との「生」の交流、異国の地で著者が得た気付き、戸惑い、等々を乗せて、バスは進んでいくのです。

この小説、『深夜特急』シリーズは、文庫にして全6冊の作品です。6冊と聞くと大長編のように思われるかも知れませんが、分量の点については心配ありません。1冊当たり200ページ程の分量であるため、読書慣れしていない人でも十分読めるはずです。また、文体も素直で、ひねくれたところがありません。作品そのものの面白さはもちろんですが、この読みやすさもお勧めする理由の一つです。

まずは第1巻を手にとってみてください。

第1巻は、まだデリーに到着すらしていない段階のお話です。著者は寄り道のつもりで立ち寄ったマカオでサイコロを使ったギャンブルにハマリ、旅の資金を使い込んでしまいます。著者は「ギャンブルで失ったものはギャンブルで取り戻そう」と、サイコロの出目の法則を探るのですが……という内容です。カジノのディーラーや他の客とのやり取りが緊張感をもって描写され、私自身も賭けに参加しているような感覚に陥りました。このように、著者と共に旅をしている感覚になってしまえば、ロンドンへの道程はそう長いものではありません。

現実から一旦離れ、遠く異国の地へ思いを馳せる—そんな事ができるのも、読書の魅力です。容易に外出できない、旅行に行けない状況にあるからこそ、紀行小説を読む。こういった読書も良いものだろうと思います。

(神学研究科 中元漢)

絵本を通じて、朝鮮半島の分断／統一に対する 想いについて共に「感じて」みませんか？

イ・オクベ作、おおたけきよみ訳



『非武装地帯に春がくると』

童心社、2011年

みなさん、いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスが蔓延する中で、なかなか外出するのも億劫な日々が続いているのではないのでしょうか。

そんな中、少しでも家で充実した日々を過ごしていただきたいと思い、今回はある絵本を紹介しようと思います。

「大学生に絵本を紹介するの？」と思ったあなたにこそ、ぜひ読んでいただきたい本です。

絵本に描かれている挿絵は、とても色彩豊かで、私たちの目を楽しませてくれます。そして、絵本が放つ豊かなお話には、私たちが忘れかけていた、あるいは普段あまり感じることのできない大切な何かについて、ふと立ち止まって考えさせる、というよりは「感じさせる」魅力があります。私たちの感受性をしなやかに刺激してくれる何かが、絵本の世界には備わっています。

とはいえ、子供のころは絵本を読んだ経験があっても、大人になるにつれて、絵本からは離れていくのが一般的かと思います。私もそうでした。

ただ今回、ふとしたきっかけで絵本を探す機会に恵まれて、この絵本に出会うことができました。イ・オクベという韓国の絵本作家が書いた『非武装地帯に春がくると』という絵本です。

冒頭の以下の文章から、この絵本は始まります。

朝鮮半島は、もともと ひとつの 国でした。
でも いま、南と 北に わかれています。
南と 北の あいだには 「非武装地帯」が あります。
非武装地帯の 外側には 何重もの 鉄条網が はられていて、
そこには だれも はいることが できません。
鉄条網の そばには 展望台が あります。



挿絵 1：非武装地帯を流れるイムジン河で鳥が仲良く暮らしている（9頁）

非武装地帯とは、1950年から53年まで続いた朝鮮戦争の休戦に伴って設定された休戦ラインから南北2キロメートルの地帯のことを指します。その外側にある展望台に足しげく通う一人のおじいさんがいます。朝鮮半島の南側に住むこのおじいさんを主人公に、朝鮮半島の南北分断をこの本は描いています。

展望台から眺める非武装地帯には、春、夏、秋、冬それぞれの色鮮やかな自然と、様々な動物たちが表情豊かに南北を自由に行き交う景色が広がります（挿絵 1, 3 を参照）。一方、そこにいる軍人たちは年中、無表情で鉄条網を直したり、過酷な訓練をしたりしています。

おじいさんかというと、春の日に長い階段を登って展望台に向かいます。雨が降り雷が落ちる夏の日も展望台に行き、北の大地を「ぼんやりと」眺めます。秋には観光客に交じって「ぽっかりとあいた」北の空を眺めるおじいさん。冬も孫と一緒に雪に覆われた北の大地を「ぼんやりと」眺めています、後ろ姿でその表情は分かりません（挿絵2を参照）。

動物たちの生き生きとした豊かな表情と軍人たちの無表情、あるいはおじいさんの寂しげな表情が、とても対照的に描かれています。

でも、次の春が来た時、おじいさんの表情がうって変わって晴れやかになっています。その理由は.....？それはこの絵本を読んでものお楽しみです。

挿絵2：冬に孫とともに展望台にのぼるおじいさん（25頁）



挿絵3：カワウソやシカが非武装地帯で楽しく遊ぶ（11頁）

この絵本にはちょっとした仕掛けがあるのも魅力の一つです。この本を読んだ後に表紙と背表紙を見開きにして眺めると、胸がじわっと暖まることでしょう。見返し部分の仕掛けも絶妙に作られています。

朝鮮半島の分断についてほとんど知識がない読者に向けて、本の最後には「朝鮮半島と非武装地帯」というコラムによる解説もあります。

今回紹介した『非武装地帯に春がくると』を読むと、日本のマスメディアではほとんど報じられない、一般の朝鮮人にとっての分断の苦しさや悲しさ、そして統一への想いの一端を感じとることができると思います。そうした共感をふまえてもう一度朝鮮半島的情勢を見てみると、以前とは違って見えることと思います。この点が、とりわけ日本に住む、大学生を含む大人にもこの絵本を薦める理由の一つです。ですので、ぜひ一度手にとってみてください！

この絵本は童心社（日本）、訳林出版社（中国）、四季節出版社（韓国）による共同出版事業である「日・中・韓 平和絵本」シリーズの中の1冊です。他にも良書が多数あります（個人的におすすめしたいのは姚（ヤオ）紅（ホン）作、中田美子訳『京劇がきた日』）ので、この機会にどうぞ絵本の豊かな世界を感じてみてください。

（グローバル・スタディーズ研究科 大槻和也）

リモート勉強室を活用しよう！！

ラーニング・コモンズをweb上で利用できます！！（開講期間中/平日 10:30 ~ 17:30 で稼働中！）

使い方

- ・右図のQRコードからアクセスし、リモート勉強室チャンネルにログイン
- ・ビデオ通話をつなぎっぱなしでリモート勉強室に参加
- ・「自分以外にも勉強してる人がいる」空間を創出できます！

メリット

- ・予約不要！好きな時間に利用できます！自分のスケジュールに合わせて活用できます。
- ・リモート勉強室にラーニング・アシスタント(LA)が常駐しているので、いつでも質問相談が可能！

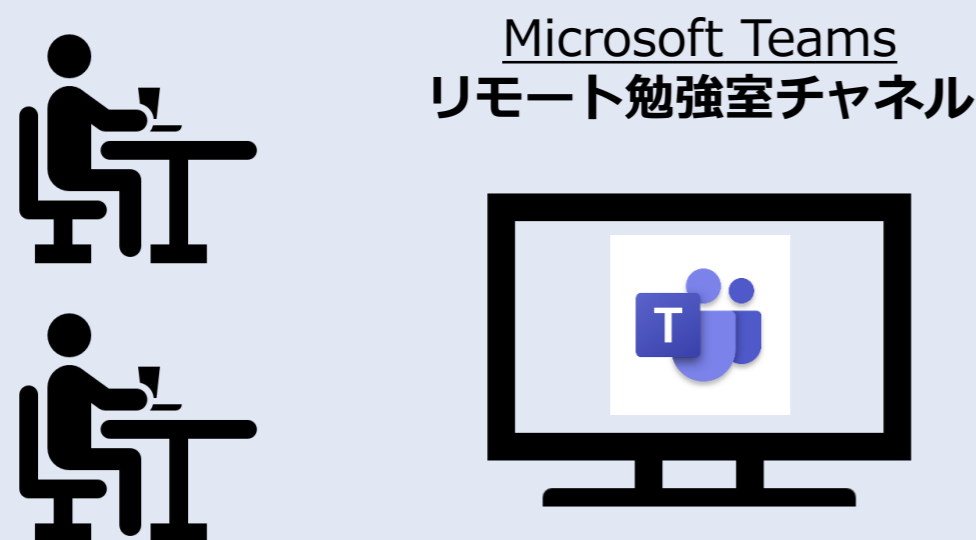
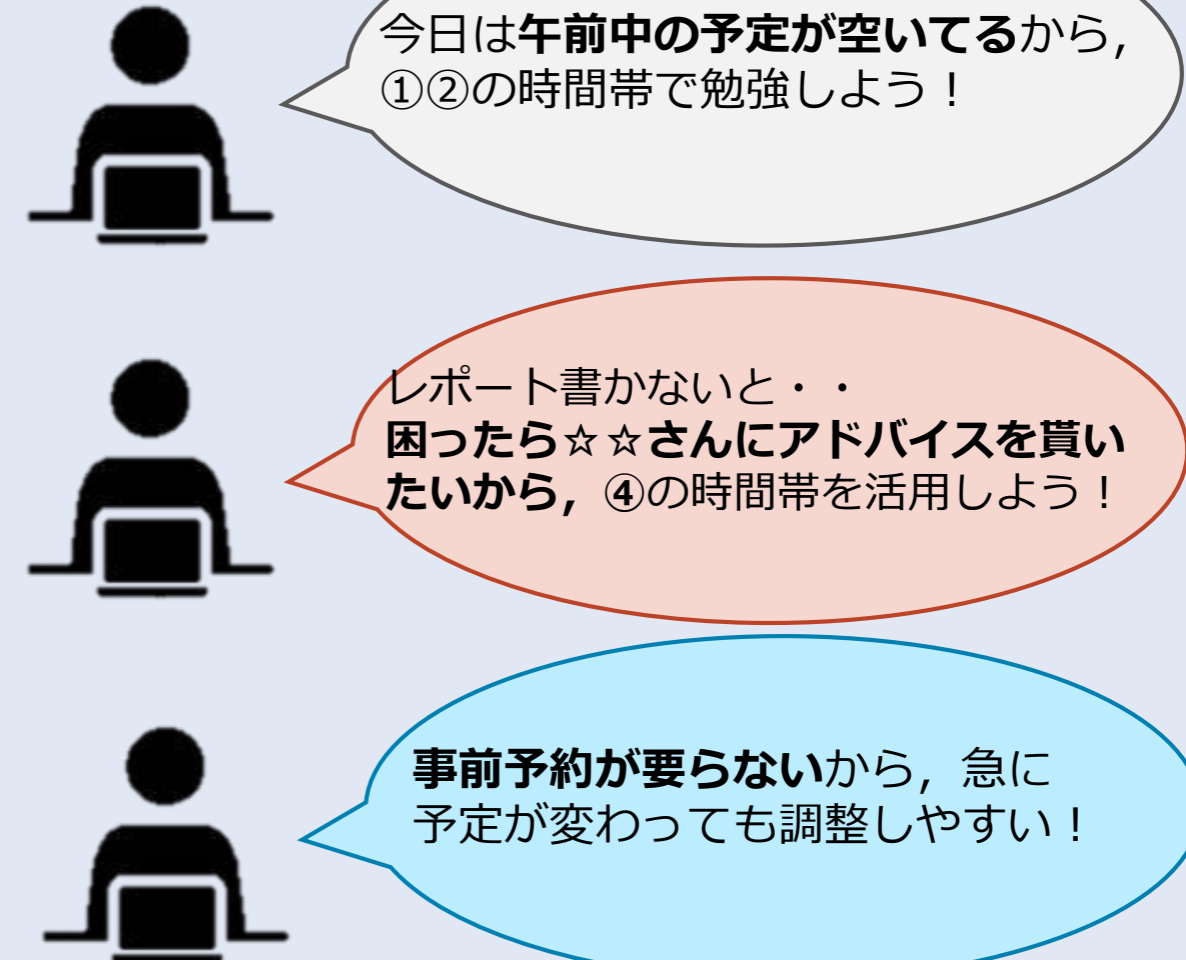


利用イメージ図

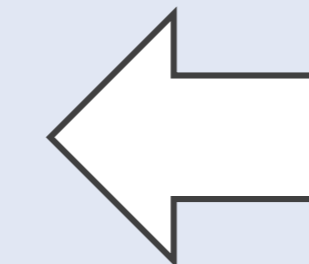
両校地LAがオンライン上で常駐

リモート勉強室を利用したい学生

タイムテーブル	担当LA
① 11:00 - 13:00	今出川：●● 京田辺：△△
② 12:00 - 14:00	今出川：○○ 京田辺：◆◆
③ 13:00 - 15:00	今出川：▼▼ 京田辺：◎◎
④ 14:00 - 16:00	今出川：☆☆ 京田辺：■ ■
⑤ 15:00 - 17:00	今出川：●● 京田辺：△△



QRコードから参加



リモート勉強室チーム(Teams)へのアクセス方法

1. 大学が付与したメールアドレスで Microsoft Teamsにログイン

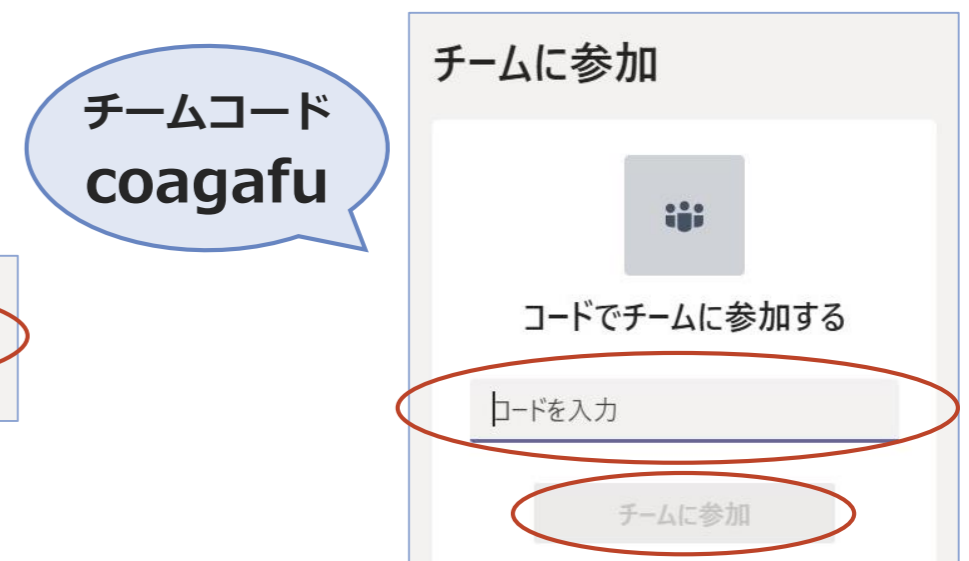


※Microsoft Teamsは同志社大学Webシングルサインオン内のOffice 365メニューからアクセスできます。

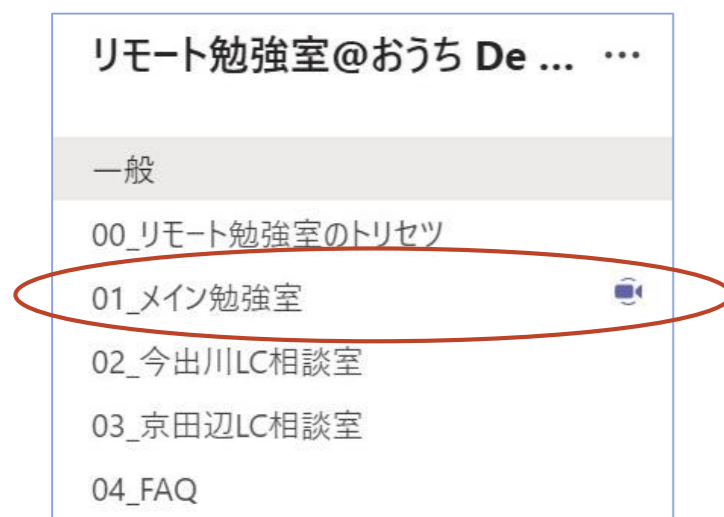
2. Teamsの「チーム」ページの右上にある「チームに参加/チームを作成」ボタンをクリック



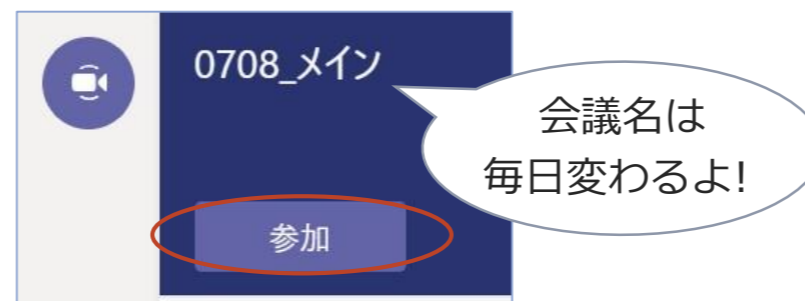
3. 「チームに参加」という文字の下に「コードでチームに参加する」が表示されたら、コード入力欄に「coagafu」を入力し、「チームに参加」をクリック



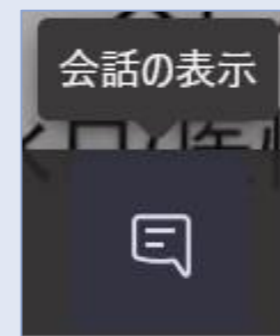
4. リモート勉強室@おうち De LC オンライン チームの 01_メイン勉強室 チャンネルをクリック



5. 「参加」を押して会議に参加



会議に参加すると、画面の下にツールバーが表示されます。右のようなアイコンをクリックすると、右側に会議チャットが表示されます。



6. 質問・相談したい場合

会議チャットの下の入力窓に学部や学年を入力



ラーニング・アシスタント(LA)が相談室に招待しますので、そのままお待ちください!

(生命医科学研究科 見崎貴史)

お問い合わせ：学習支援・教育開発センター
mail : clf-seminar@mail.doshisha.ac.jp

編集後記

お花見に行くことも憚られる春、音楽イベントも花火大会もない夏。

世界中の「日常」が180度変化してから、あっという間に半年以上が経ちました。

会いたい人たちにも会えないまま、マスクをしている状態と同じようにどこか息苦しい毎日を過ごしてきた方が、たくさんいらっしゃるかと思います。

実際に、信じ難いような悲しいニュースを毎日のように目にする日々でした。

時には誰かの悲しみや苦しみを思い、感情が引きずられるような感覚になるときも。

ひとりである時間が長くなると、なにかを深く考えることが増える一方、“簡単で大切なこと”を忘れてしまいそうになります。

大学生は特に、授業の再開も認められず「ひとり」を感じる時間も長かったですよね。

ただでさえ将来のこと、研究のことに思い悩み、日常の些細な事にも敏感な「大学生」という時を過ごす中、この状況が作り出す孤独感は途方もないものだったのではないのでしょうか。

ひとりで考えること、悩む時間、それもまた大切なものです。

しかし、それに疲れたら、苦しいと感じたら、力になってくれる人が必ずいるということをどうか忘れないでください。そして、その人も何か悩んでいるかもしれない。

そう感じたら、今度はどうかあなたが話を聞いてあげて。

人間には、そういうことが出来るのではなかったかと、この頃ふと思います。

少し前から、リンドウの花をよく目にするようになりました。
「悲しいときのあなたを愛する」とは、リンドウの花言葉です。

悲しいときの誰かを大切に想うことが出来ますように。
悲しいときのあなたが、大切に想われますように。

顔を知らないあなたも、言葉を交わしたことの無いあなたのことも、そう思っている筆者がここにいます。

そして、大学生活での学びについて、どんな些細なことでもラーニング・アシスタントが力になりたいと思います。

今回のPRESS13号では、オンラインでのやり取りを中心に多くの方々にご協力いただきました。

LAによる「リモート生活」のガイドとなる記事をはじめ、自粛期間に凝り固まった気持ちをほぐしてくれるようなブックレビューもお書きいただき、このコロナ禍の状況においても発行に至ることが出来ました。

今回のPRESSも、ひとつひとつの記事に、多くのLAの知識や思いが込められた素敵なものです。

この状況と戦っている皆さんの、ひとりでも多くの方の助けとなりますように。

(文学研究科 山根圭乃子)

COMMONS PRESS vol.13 編集委員会

編集長 手嶋彩世子

(グローバルスタディーズ研究科)

山根圭乃子 (文学研究科)

発行日:2020年8月27日 (10月6日:第2版)

発行: 同志社大学良心館3階
アカデミックサポートエリア
(学習支援・教育開発センター)

アカデミックサポートエリア(ASA)

学習相談は 平日10:30-17:30

予約不要!

スタッフ紹介は

大学HP・LC内の掲示を

ご確認ください😊

